

9月 1日 ~ 15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
07/09/03 (月)	東京は円買い進行するもクロスを中心とした円売りに押され、徐々に円安優勢に。 欧米は米国が休場ということもあり動意乏しい。材料も目立ったものはとくになし。	・第2四半期設備投資 4.9% ・米国市場が休場	・官房長官「2.0%以下の長期金利が長期間続くかという問題はある」 ・津田財務次官「企業部門の好調が続いているとの認識変わらない」 ・アルムア欧州委員「ユーロ圏の利上げサイクルは終了に近づいている」	115.83 116.14 115.66 115.97	157.90 158.44 157.53 158.00	寄付 安値 高値 終値
07/09/04 (火)	東京はサブプライム問題の再燃観測や財務省関連のこともあり右往左往。結局円最高値圏で大引け。 欧米はサブプライム問題の火消しに当局が動いたほか、発表された米経済指標が良好でドル高へ。	・独系銀で資金調達難の噂 ・財務省が外準管理の新部署創設との一部報道 ・8月の米建設支出 0.4%、同ISM製造業景気指数52.9	・米連銀と規制取締り当局共同声明「連銀は住宅ローン貸し出し業者に問題を抱える社宅保有者を援助するように要請」 ・リッチモンド連銀総裁「必要なら利下げを支持」	115.77 116.43 115.33 116.35	157.60 158.42 156.55 158.29	寄付 安値 高値 終値
07/09/05 (水)	東京は金融相やHH高官発言などもあり円買い優勢。豪州ファントの破綻など、ともかく円買い材料多い。 欧米は米雇用関係指数の悪化に加え地区連銀報告に対する失望もあり終盤に掛けて円急騰。	・豪州ファント、米銀にサブプライム絡みの損失の噂 ・8月のADO全米雇用報告3.8万人、7月の米中古住宅販売 12.2% ・米地区連銀報告「ほとんどの地区で住宅市場不振は悪化したと示唆」	・渡辺金融相「円キャリ-巻き戻しのリスクはまだ残っている」 ・ホワイトハウス高官「米中首脳会談で為替が話題になる可能性」 ・OECD「FRBは9月に25BPの利下げを実施すべき」	116.43 116.45 114.99 115.28	158.62 158.64 156.71 157.31	寄付 安値 高値 終値
07/09/06 (木)	東京は一時114円台を見るも値ごろ感からの押し目買いなどを受けてドル反発へ。 欧米はユーロ主導の相場展開。ECB総裁の発言が失望に終わったにも関わらずユーロ下げ渋り。	・中国が預金準備率を0.5%引上げ ・BOEとECBが金利据え置き決定 ・第2四半期の米非農業部門労働生産性2.6%、同単位労働コスト1.4%、8月のISM非製造業景気指数55.8	・米政府「中国国家主席、米大統領に中国は為替制度改革を継続すると表明」 ・ECB総裁「強い警戒」を今回は言及せず	114.95 115.57 114.91 115.40	156.93 158.24 156.90 157.99	寄付 安値 高値 終値
07/09/07 (金)	東京は日経平均が100円を越す下げとなったことで円買い優勢。クロスを含めて円全面高の様相。 欧米は発表された米雇用統計が予想外の悪化となったことで円買いと言うよりドル全面安の様相に。	・7月の景気先行指数70.0%、8月末外準9321.57億ドル ・8月の米失業率4.6%、同非農業者雇用数 4000人(4年ぶりマイナス) ・7月の米卸売在庫0.2%	・ユーログループ議長「弱いユーロよりも強いユーロを望む」 ・独連銀総裁「金融引き締めは終了していない」 ・米下院金融委員会委員長「18日の米利下げを要求」	115.47 115.48 113.13 113.40	158.11 158.11 155.72 156.13	寄付 安値 高値 終値
07/09/10 (月)	東京は行って来い。円高でスタートしたものの、輸入企業のフラット為替などもあり途中でドル急反発。 欧米はドルが続伸。一時114円台を示現する局面も見られたが上値は重く上げ渋り。	・第2四半期GDP改定値 0.3%、8月のマネーサプライ1.8%、同景気ウォッチャー調査44.1	・スペイン財務相「ユーロ圏の金利はピークに近い」 ・仏中銀総裁「市場の混乱で不透明感増している」 ・SF連銀総裁「経済にかなり下方圧力が見られる」	112.90 114.01 112.72 113.72	155.55 157.36 155.31 156.96	寄付 安値 高値 終値
07/09/11 (火)	東京は機械受注の良好もあり円買いスタート。ただ途中で流れが変わりクロス中心の円安へ。 欧米はユーロが独歩高。ECB総裁による利上げを示唆する発言がユーロ買いを促進させた。	・7月の機械受注17.0% ・メキシコの原油パイプライン爆破される ・7月の米貿易収支 592億ドル、対日 80.1億ドル、対中238.0億ドル	・アルムア欧州委員「下振れリスクが増大しつつある」 ・ECB総裁「最近のデータは上向きのインフレを示している」 ・FRB議長「金利は低水準に抑えられている」	113.55 114.38 113.40 114.30	156.62 158.21 156.31 158.18	寄付 安値 高値 終値
07/09/12 (水)	東京は安倍首相辞任のビッグサプライズが報じられるも為替市場への影響は限定的に。 欧米はユーロ債償還の噂から小安く寄り付くも欧州利上げ観測などもあり切り返すと高値引け。	・7月経常収支1兆8559億円、同貿易収支7843億円、8月国内企業物価0.0% ・NY原油が初の80ドル台へ ・日経新聞早刷り「月例経済報告で基調判断を下方修正」	・TBSテレビ「安倍首相辞任の意向」(その後正式発表あり) ・米財務長官「サブプライム問題解決には時間がかかる」 ・ポルトガル中銀総裁「物価リスクを評価するためすべての指標を見極め」	114.13 114.38 113.78 114.26	157.93 158.91 157.78 158.88	寄付 安値 高値 終値
07/09/13 (木)	東京は日経平均など本邦株価動向をにらみつつ円安進行。クロスでも円は芽えない。 欧米は週間ペ-スの新規失業保険申請者が良好な内容となったことを好感したドル買い優勢。	・BOEが準備預金残高目標のレンジを上下1%から37.5%に拡大 ・スイスが政策金利を0.25%引き上げ ・8月の米財政収支 1170億ドル ・英中銀が英住宅金融機関ノーザンロックへ緊急支援	・前FRB議長「バーナンキ議長は優れた手腕を発揮」 ・ECB総裁「より広範囲な市場の調整の可能性」 ・シュタルクECB理事「市場混乱を受けテリリスクは増大」	114.26 115.50 114.12 115.09	158.76 160.48 158.56 159.79	寄付 安値 高値 終値
07/09/14 (金)	東京は前日NY終盤に報じられたノーザンロックがらみの報道を受け一時円が急騰。ただ仲値不足が下支え。 欧米は材料目白押し。発言や経済指標などをめぐり右往左往し、明確な方向性に乏しい。	・7月鉱工業生産 0.4% ・中国が預金準備率を0.27%引上げ ・8月の米小売売上高0.3%、同鉱工業生産0.2%、同設備稼働率82.2、9月シガン大消費者信頼感指数83.8	・韓国財経相「急激なウォン高には介入で対応する」 ・ECB総裁「円はファンダメンタルズを反映すべき」 ・米財務長官「強いドルは米国の利益にかなう」	114.82 115.40 114.36 115.37	159.29 160.25 158.85 160.08	寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで